



# 第10回特別支援教育に対応した 授業力向上研修会

# 御礼 新聞

2019年2月12日発行  
特別支援教育に対応  
した授業力向上研修会  
実行委員会  
TOSS  
News Letter

## 第10回記念大会 大成功！ 2020年第2ステージへ！

### 講座内容

#### 【様々な基本原則を完全習得する】

- 11:00～11:15 「今さら言えない」「おそらく知らない」  
発達障がい児・困り感を抱えた子への対処・対応の基本原則
- 11:15～11:30 「瞬発力」「瞬察力」「瞬圧力」がすべてを決める  
やんちゃな子ども高学年女子も熱中する授業と対応の基本原則
- 11:30～11:45 あなたのささいな行動一つで展開が大きく変わる  
保護者からの絶対的な信頼を勝ち取る対処・対応の基本原則

#### 【すべての子があなたの対応・対処で活躍する】

- 12:00～12:50 子役付き模擬授業&教態チェック
- 【あなたにもできる「安定する学級経営」の技術と技能】
- 13:05～13:25 田村流学級経営の妙
- 13:25～13:45 間嶋流学級経営の妙
- 13:45～14:05 小野流学級経営の妙

#### 【唸る 感動する これが『THE 授業』だ】

- 14:20～14:35 特別模擬授業(間嶋先生)
- 14:35～14:50 特別模擬授業(小野先生)
- 14:50～15:05 特別模擬授業(田村先生)

#### 【本音で語る 参加者と空間を共有する】

- 15:20～15:45 対談  
～教育観・仕事術・家庭・人生観などについて本音で語る～

#### 【疑問や悩みにその場で即答 あなたの心を軽くする】

- 15:45～16:00 特別支援教育&授業経営・学級経営QA



▲授業での対応をライブで学ぶ子役付き模擬授業

東日本大震災という未曾有の災害の中でも研修会を続けたのは、子どもたちの心をケアする学級経営スキルや授業経営スキルを共に考え合おうという思いがあったからである。来年は第11回。この研修会も第2ステージとなる。

研修会をさらに充実させるために、三名の講師は授業を続けていきます！

二〇一九年二月一日(日)に大船渡市魚市場において、第10回特別支援教育に対応した授業力向上研修会が開催された。

今回は10回記念大会であった。二〇一〇年から十年連続の開催となった。

何事もそうだが、続けることの難しさがある。このような研修会の場合尚更である。

これまで継続して開催できたのは、沿岸大船渡の地まで、わざわざ足を運び、参加された方々の支えがあったからである。

大雪の中やインフルエンザが大流行している中でも多くの方が参加して下さり開催を続けることができた。

二〇一一年二月に第2回研修会があり、翌月三月十一日に東日本大震災があった。

### 様々な基本原則を完全習得する

小野隆行氏の第1講座は、発達障がい児・困り感を抱えた子への対処・対応の基本原則。

小野氏からは、「特別支援教育に必要な『もう一歩の詰め』についての話題が話された。例えば、『ほめる』ということについて、『プラスの行動が定着するまでほめる必要がある。しかし、ともすると教師側では、そこまでほめていないのかもしれないね』ということが話された。

また、道具を準備する際に、『準備するのとはしないのではどう違う?』と『前より準備が大変じゃなくなったでしょ』の使い分けについて話され、併せて言い方についての練習を行った。話し方によって、子どもへの伝わり方が変わることを全員で確認した。

田村治男氏の第1講座は、『やんちゃな子ども高学年女子も熱中する授業と対応の基本原則』。

田村氏からは、高学年女子との付き合い方で最も大切なのは『距離感』であるとし、『パワー』は近づいてくるものであって、追うものではないということが話された。

また、熱中する授業の原理原則(法則性)として、『知的である』『変化のあるくり返し』『3ランクのある個別評定』『4細分化して『できない』から『できる』に挑む』など10項目が提示された。

間嶋氏の第1講座は、『保護者からの絶対的な信頼を勝ち取る対処・対応の基本原則』。

間嶋氏は、子どもをほめる際に一筆箋に書いて渡すという方法が紹介された。

一筆箋に書いて保護者渡すことにより、保護者に直接会う前からの出会いが生まれると話された。そのことが、学級経営上での大きなアドバンテージになるという。参加者はそのことに大きく頷いていた。

三氏の第2講座は、『あなたに

もできる『安定する学級経営』の技術と技能』というタイトルのもと、三氏の学級経営のポイントが話された。

三氏からは、『その教師の得意なことや学級を統率していく大切さ』や『全体を育てること』と『個を育てることを並行して行う必要があること』、『教師の落ち着いた態度が子どもたちを安心な気持ちにさせること』などが話された。

『脳』の強化は、読書よってなされる」という事実をたたみかけるような授業展開によって理解させていく間嶋氏の授業技能はさすがであった。

小野氏の特別模擬授業は、郵便ポストに焦点を絞った模擬授業。

全国のポストを地図上にマッピングした『ポストをひたすらマッピング』のサイトを使い、そこをどのような情報が盛り込まれているかについて、興味関心を持たせながら授業を進めていった。

緑のポスト表示は、ローソンの店内のポストであることを紹介すると驚きの声が上がった。

また、全国各地や世界の珍しいポストを紹介するなど、楽しく授業が展開された。

田村氏の特別模擬授業は、『THE CHORIR』(サクワイア)という呼吸器に障害を持った18人の人々に、合唱を通して夢と希望、絆を深めようとしたイギリスの合唱団指揮者のギヤレス・マローンと18人の姿の授業化であった。



『THE 授業』だ。三氏による特別模擬授業。題して『唸る 感動する これが『THE 授業』だ』。

三氏に模擬授業をしていただき、授業内容だけでなく、発問・指示、声のトーンや間、笑顔、立ち方などを探ろうという含まれている。

間嶋氏の特別模擬授業は『読書がつくるもの』。

読書の大切さについて、歴史を遡ったり、各地の図書館を紹介したりしながら理解させていく授業であった。

近年、大学生の読書離れが進み、そのことがどのような影響を及ぼすのかということについても話された。

『脳の強化は、読書よってなされる』という事実をたたみかけるような授業展開によって理解させていく間嶋氏の授業技能はさすがであった。

小野氏の特別模擬授業は、郵便ポストに焦点を絞った模擬授業。

全国のポストを地図上にマッピングした『ポストをひたすらマッピング』のサイトを使い、そこをどのような情報が盛り込まれているかについて、興味関心を持たせながら授業を進めていった。

緑のポスト表示は、ローソンの店内のポストであることを紹介すると驚きの声が上がった。

また、全国各地や世界の珍しいポストを紹介するなど、楽しく授業が展開された。

田村氏の特別模擬授業は、『THE CHORIR』(サクワイア)という呼吸器に障害を持った18人の人々に、合唱を通して夢と希望、絆を深めようとしたイギリスの合唱団指揮者のギヤレス・マローンと18人の姿の授業化であった。

### 唸る 感動する これが『THE 授業』だ

ごく普通の人たちを次々に美しい歌声を響かせる合唱団にしていくギヤレスを人々はマジシャンと呼んだ。

最後のアポロシアターでの歌声には、参加者から感動の声が上がった。

三氏の授業に共通していることが幾つかある。

まず、『導入の鮮やかさ』である。

三氏は、あつという間に参加者を引き付ける見せ方を行っている。導入がもつたりしたものになると、それだけで授業への興味関心が薄れてしまう。

次に、『無駄な言葉のない発問や指示』である。余計な言葉がないということは、参加者にその内容が正確に伝わるとのことである。

そのことで授業を受ける側は見通しを持つて授業を受けることができる。つまり、ストレスを抱えない状態で授業を受けられるのである。

それから、『あなたかな表情や対応は、授業を受ける側に安心感を生む。何を話しても大丈夫だ』という雰囲気や学級を醸成することになる。素晴らしい三本の授業だった。



あなたかな表情や対応は、授業を受ける側に安心感を生む。何を話しても大丈夫だ』という雰囲気や学級を醸成することになる。素晴らしい三本の授業だった。

# 大好評講座 『子役付き介入模擬授業』 講座

今回は、授業の基礎基本である「教態チェック」講座も開催  
笑顔、立ち位置、目線、発問・指示などを学びました

第一回から行われてきた大好評の講座が、「子役付き介入模擬授業」である。

会場の前方の一部を教室に見立て、教師が、発達障がい児や困り感を抱えた子や周りの子に  
対応しながら授業を進める。それ  
れに対し、二人の講師が介入し、  
対応や発問・指示について良い点  
や改善点について指摘したり、代  
案を示してみせたりする。

この講座の最も優れている点は、  
それぞれの講師が「授業行為の  
良し悪しとその理由を説明しな  
がら代案までもやってみせたり」と  
いうことである。

例えば、授業のリズムとテンポ  
について具体的に示しながら、二  
つの違いについて説明する。

また、効果的な資料提示の仕  
方について、代案を述べながら、  
「なぜその提示のほうが優れてい  
るのか」の説明する。

講師が介入して説明するたび  
に、参加している皆さんから大  
きな頷きが起こった。

今回は、これまでの「介入模擬  
授業」に加え、「教態チェック介  
入講座」も行なわれた。

「発問・指示」「立ち位置」「目  
線」などについて介入し、良し悪  
しについて理由も併せて話したり  
どうすればよかったのかについて  
解説したりする講座である。

例えば、「教師は子どもたちの  
お手本であり、刺激物でもある」と  
いうことがあげられた。

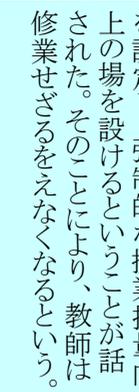
発問や指示をする際、体を動  
かしたり、身振り手振りをした  
りする教師がいる。それでは、子  
どもたちは授業に集中できなく  
なることも考えられるのである。

つまり、子どもたちが教師の動  
きに注目してしまうということ  
なのだ。

また、余計な言葉を発してし  
まうというのがある。教師が子  
どもたちに話す場合、「うー」

とか「えー」などと  
いう余計な言葉を  
挟んでしまうとい  
うことである。そのこ  
ともまた、子どもた  
ちが気になってしま  
う教師の行為にな  
るのである。

線などについて介入し、良し悪  
しについて理由も併せて話したり  
どうすればよかったのかについて  
解説したりする講座である。



第10回特別支援教育  
研修会(同実行委主催)  
10年目の記念大会を  
迎えた今研修会は、▽  
子役付き模擬授業で教  
育のヒント、保護者の  
信頼を得るために必要  
なことなどについて、  
各種講座に臨んだ。

また、余計な言葉を発してし  
まうというのがある。教師が子  
どもたちに話す場合、「うー」

とか「えー」などと  
いう余計な言葉を  
挟んでしまうとい  
うことである。そのこ  
ともまた、子どもた  
ちが気になってしま  
う教師の行為にな  
るのである。

線などについて介入し、良し悪  
しについて理由も併せて話したり  
どうすればよかったのかについて  
解説したりする講座である。

例えば、「教師は子どもたちの  
お手本であり、刺激物でもある」と  
いうことがあげられた。

発問や指示をする際、体を動  
かしたり、身振り手振りをした  
りする教師がいる。それでは、子  
どもたちは授業に集中できなく  
なることも考えられるのである。

つまり、子どもたちが教師の動  
きに注目してしまうということ  
なのだ。

また、余計な言葉を発してし  
まうというのがある。教師が子  
どもたちに話す場合、「うー」

とか「えー」などと  
いう余計な言葉を  
挟んでしまうとい  
うことである。そのこ  
ともまた、子どもた  
ちが気になってしま  
う教師の行為にな  
るのである。

線などについて介入し、良し悪  
しについて理由も併せて話したり  
どうすればよかったのかについて  
解説したりする講座である。

例えば、「教師は子どもたちの  
お手本であり、刺激物でもある」と  
いうことがあげられた。

発問や指示をする際、体を動  
かしたり、身振り手振りをした  
りする教師がいる。それでは、子  
どもたちは授業に集中できなく  
なることも考えられるのである。

つまり、子どもたちが教師の動  
きに注目してしまうということ  
なのだ。

また、余計な言葉を発してし  
まうというのがある。教師が子  
どもたちに話す場合、「うー」

とか「えー」などと  
いう余計な言葉を  
挟んでしまうとい  
うことである。そのこ  
ともまた、子どもた  
ちが気になってしま  
う教師の行為にな  
るのである。

## 対談は爆笑の連続!

第10回記念の第4弾講座は、  
三人の講師による対談。

コーディネーターの佐々木伸  
也氏が、仕事術・家庭・教育観に  
ついて考えていることを講師であ  
る三氏に質問した。

授業の技量を上げるための修  
業として、小野氏と田村氏は授  
業を録音・録画をして自分の姿  
を見たり、発問・指示を書き出  
したりすることをあげられた。

授業のテープ起こしという行  
為には、膨大な時間を要するが、  
自分がいかに無駄な言葉を話し  
ているかが分かる。

また、三氏からは「T.O.S.S授  
業技量検定」の話が話された。

T.O.S.S授業技量検定は、現在  
全国で五千人以上の教師が受検  
し、授業の腕を上げているとい  
う。

間嶋氏からは、授業を行う場  
を設定し、強制的な授業技量向  
上の場を設けるといことが話  
された。そのことにより、教師は  
修業せざるをえなくなるという。

家庭についての質問  
では、それぞれの痛  
いところを突かれた  
といったような空気  
に一変。

お互いの家庭での気  
遣いについて話しまし  
たが、「え、それで気  
遣い?」と思うような答えの連  
続。本人たちはもちろん、参加  
者の皆さんも大爆笑の連続で  
あった。



家庭についての質問  
では、それぞれの痛  
いところを突かれた  
といったような空気  
に一変。

お互いの家庭での気  
遣いについて話しまし  
たが、「え、それで気  
遣い?」と思うような答えの連  
続。本人たちはもちろん、参加  
者の皆さんも大爆笑の連続で  
あった。

## 研修会へ参加したみなさんの感想 ※一部抜粋



研修会へ参加したみなさんの感想 ※一部抜粋

子どもたちに対応する講座を  
聞いて、これまで「そうなんだ」  
と聞いていただけだったと思いま  
す(今思えばということ)。し  
かし、今日の講座の中では、今年  
度見ている子どもたちの姿を思  
い浮かべ、「こういう話し方だっ  
たらどうか」等、自分の対応の良  
い時や悪い時を考えながら聞き  
ました。自分では、半歩前に進め  
たかなと思ひ、特別支援教育に

ついてさらに学んでいきたいです。  
■間嶋先生、小野先生、田村先  
生の特別授業は、大人でも知識  
を積み重ねることができ楽しかつたです  
から、子どもたちはもつと熱中  
するだろうなと思ひました。授  
業を受けてとても感動しました。  
授業技量を上げるために、自分  
の授業を書き出して見直すよう  
にします。

■日々の生活に流されている中  
で、このような研修会に参加す  
ることで、子どもや保護者の方へ  
の向きあい方、自分の普段のこと  
を振り返り、至らなさを感ずる  
と共に、少しでも成長したいとい  
う思いがわいてきます。

■応用行動分析学について改め  
て勉強しようと思ひました。知  
識としては知っていました。あ  
まり理解していないことに気が付  
きました。高学年女子の対応は  
難しいと感じています。関わり方  
だけでなく、距離感が大切だと  
知りました。心を開くまで待つこ  
とを学びました。

■今日のセミナーでは、特別支  
援対応だけでなく、様々な視点  
で勉強になりました。田村先生  
の授業にあつたように、子どもた  
ち一人一人の力を引き出せる教  
師になりたいと思ひました。

■毎年二月は、この研修会に参  
加することを楽しみにしていま  
す。この研修会で学ぶことができ  
なかつたら、適切な指導ができず  
学級全体が大変なことになつて  
いたかもしれないと思うことが  
何度もあります。この会と先生  
方に感謝しております。介入模  
擬授業・教態チェックでは、授業  
された先生方の声や用具の操作  
進め方のよさ等がよく分かりま  
した。講師の先生方のコメントか  
ら、授業で大切にすべきポイント  
組み立て方の良し悪し等を学ぶ  
ことができました。

■小野先生、間嶋先生、田村先  
生の模擬授業は、子どもになつ  
たつもりでわくわくしながら受  
けました。どんどん引き込まれ  
ていくのが分かりました。導入か  
ら目が離せません。映像、発問  
がすーっと入ってきました。田村  
先生の授業後は、感動して涙が  
出そうになりました。小野先生  
の授業後は、どんな素材でも観  
光名所が作れるのか、新しいもの  
ではなく、今あるものが使えるの  
ではと学習意欲が高まりました。  
間嶋先生の授業後は、もつと子  
どもたちに読み聞かせをして読  
書をしたくなる環境をつくらせ  
てあげたいと思ひました。

■ほぼ参加してきましたが、毎  
回刺激的です。現在、担任はし  
ておりませんが、参加することで  
授業の見方や子どもへの対応の  
仕方に変化が出てきていると思  
ひます。模擬授業はどれも引  
き込まれるものでした。これがプ  
ロのリズムとテンポなのだと思  
ひました。

■子どもたちに対応する講座を  
聞いて、これまで「そうなんだ」  
と聞いていただけだったと思いま  
す(今思えばということ)。し  
かし、今日の講座の中では、今年  
度見ている子どもたちの姿を思  
い浮かべ、「こういう話し方だっ  
たらどうか」等、自分の対応の良  
い時や悪い時を考えながら聞き  
ました。自分では、半歩前に進め  
たかなと思ひ、特別支援教育に

ついてさらに学んでいきたいです。  
■間嶋先生、小野先生、田村先  
生の特別授業は、大人でも知識  
を積み重ねることができ楽しかつたです  
から、子どもたちはもつと熱中  
するだろうなと思ひました。授  
業を受けてとても感動しました。  
授業技量を上げるために、自分  
の授業を書き出して見直すよう  
にします。

■日々の生活に流されている中  
で、このような研修会に参加す  
ることで、子どもや保護者の方へ  
の向きあい方、自分の普段のこと  
を振り返り、至らなさを感ずる  
と共に、少しでも成長したいとい  
う思いがわいてきます。

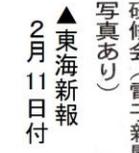
■応用行動分析学について改め  
て勉強しようと思ひました。知  
識としては知っていました。あ  
まり理解していないことに気が付  
きました。高学年女子の対応は  
難しいと感じています。関わり方  
だけでなく、距離感が大切だと  
知りました。心を開くまで待つこ  
とを学びました。

■今日のセミナーでは、特別支  
援対応だけでなく、様々な視点  
で勉強になりました。田村先生  
の授業にあつたように、子どもた  
ち一人一人の力を引き出せる教  
師になりたいと思ひました。

■毎年二月は、この研修会に参  
加することを楽しみにしていま  
す。この研修会で学ぶことができ  
なかつたら、適切な指導ができず  
学級全体が大変なことになつて  
いたかもしれないと思うことが  
何度もあります。この会と先生  
方に感謝しております。介入模  
擬授業・教態チェックでは、授業  
された先生方の声や用具の操作  
進め方のよさ等がよく分かりま  
した。講師の先生方のコメントか  
ら、授業で大切にすべきポイント  
組み立て方の良し悪し等を学ぶ  
ことができました。

## 授業力向上のヒントに 各地の教員集まり研修会

第10回特別支援教育  
研修会(同実行委主催)  
10年目の記念大会を  
迎えた今研修会は、▽  
子役付き模擬授業で教  
育のヒント、保護者の  
信頼を得るために必要  
なことなどについて、  
各種講座に臨んだ。



研修会へ参加したみなさんの感想 ※一部抜粋

子どもたちに対応する講座を  
聞いて、これまで「そうなんだ」  
と聞いていただけだったと思いま  
す(今思えばということ)。し  
かし、今日の講座の中では、今年  
度見ている子どもたちの姿を思  
い浮かべ、「こういう話し方だっ  
たらどうか」等、自分の対応の良  
い時や悪い時を考えながら聞き  
ました。自分では、半歩前に進め  
たかなと思ひ、特別支援教育に

ついてさらに学んでいきたいです。  
■間嶋先生、小野先生、田村先  
生の特別授業は、大人でも知識  
を積み重ねることができ楽しかつたです  
から、子どもたちはもつと熱中  
するだろうなと思ひました。授  
業を受けてとても感動しました。  
授業技量を上げるために、自分  
の授業を書き出して見直すよう  
にします。

■日々の生活に流されている中  
で、このような研修会に参加す  
ることで、子どもや保護者の方へ  
の向きあい方、自分の普段のこと  
を振り返り、至らなさを感ずる  
と共に、少しでも成長したいとい  
う思いがわいてきます。

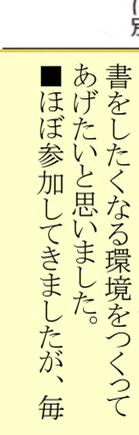
■応用行動分析学について改め  
て勉強しようと思ひました。知  
識としては知っていました。あ  
まり理解していないことに気が付  
きました。高学年女子の対応は  
難しいと感じています。関わり方  
だけでなく、距離感が大切だと  
知りました。心を開くまで待つこ  
とを学びました。

■今日のセミナーでは、特別支  
援対応だけでなく、様々な視点  
で勉強になりました。田村先生  
の授業にあつたように、子どもた  
ち一人一人の力を引き出せる教  
師になりたいと思ひました。

■毎年二月は、この研修会に参  
加することを楽しみにしていま  
す。この研修会で学ぶことができ  
なかつたら、適切な指導ができず  
学級全体が大変なことになつて  
いたかもしれないと思うことが  
何度もあります。この会と先生  
方に感謝しております。介入模  
擬授業・教態チェックでは、授業  
された先生方の声や用具の操作  
進め方のよさ等がよく分かりま  
した。講師の先生方のコメントか  
ら、授業で大切にすべきポイント  
組み立て方の良し悪し等を学ぶ  
ことができました。

■小野先生、間嶋先生、田村先  
生の模擬授業は、子どもになつ  
たつもりでわくわくしながら受  
けました。どんどん引き込まれ  
ていくのが分かりました。導入か  
ら目が離せません。映像、発問  
がすーっと入ってきました。田村  
先生の授業後は、感動して涙が  
出そうになりました。小野先生  
の授業後は、どんな素材でも観  
光名所が作れるのか、新しいもの  
ではなく、今あるものが使えるの  
ではと学習意欲が高まりました。  
間嶋先生の授業後は、もつと子  
どもたちに読み聞かせをして読  
書をしたくなる環境をつくらせ  
てあげたいと思ひました。

■ほぼ参加してきましたが、毎  
回刺激的です。現在、担任はし  
ておりませんが、参加することで  
授業の見方や子どもへの対応の  
仕方に変化が出てきていると思  
ひます。模擬授業はどれも引  
き込まれるものでした。これがプ  
ロのリズムとテンポなのだと思  
ひました。



研修会へ参加したみなさんの感想 ※一部抜粋

子どもたちに対応する講座を  
聞いて、これまで「そうなんだ」  
と聞いていただけだったと思いま  
す(今思えばということ)。し  
かし、今日の講座の中では、今年  
度見ている子どもたちの姿を思  
い浮かべ、「こういう話し方だっ  
たらどうか」等、自分の対応の良  
い時や悪い時を考えながら聞き  
ました。自分では、半歩前に進め  
たかなと思ひ、特別支援教育に

ついてさらに学んでいきたいです。  
■間嶋先生、小野先生、田村先  
生の特別授業は、大人でも知識  
を積み重ねることができ楽しかつたです  
から、子どもたちはもつと熱中  
するだろうなと思ひました。授  
業を受けてとても感動しました。  
授業技量を上げるために、自分  
の授業を書き出して見直すよう  
にします。

■日々の生活に流されている中  
で、このような研修会に参加す  
ることで、子どもや保護者の方へ  
の向きあい方、自分の普段のこと  
を振り返り、至らなさを感ずる  
と共に、少しでも成長したいとい  
う思いがわいてきます。

■応用行動分析学について改め  
て勉強しようと思ひました。知  
識としては知っていました。あ  
まり理解していないことに気が付  
きました。高学年女子の対応は  
難しいと感じています。関わり方  
だけでなく、距離感が大切だと  
知りました。心を開くまで待つこ  
とを学びました。

■今日のセミナーでは、特別支  
援対応だけでなく、様々な視点  
で勉強になりました。田村先生  
の授業にあつたように、子どもた  
ち一人一人の力を引き出せる教  
師になりたいと思ひました。

■毎年二月は、この研修会に参  
加することを楽しみにしていま  
す。この研修会で学ぶことができ  
なかつたら、適切な指導ができず  
学級全体が大変なことになつて  
いたかもしれないと思うことが  
何度もあります。この会と先生  
方に感謝しております。介入模  
擬授業・教態チェックでは、授業  
された先生方の声や用具の操作  
進め方のよさ等がよく分かりま  
した。講師の先生方のコメントか  
ら、授業で大切にすべきポイント  
組み立て方の良し悪し等を学ぶ  
ことができました。

■小野先生、間嶋先生、田村先  
生の模擬授業は、子どもになつ  
たつもりでわくわくしながら受  
けました。どんどん引き込まれ  
ていくのが分かりました。導入か  
ら目が離せません。映像、発問  
がすーっと入ってきました。田村  
先生の授業後は、感動して涙が  
出そうになりました。小野先生  
の授業後は、どんな素材でも観  
光名所が作れるのか、新しいもの  
ではなく、今あるものが使えるの  
ではと学習意欲が高まりました。  
間嶋先生の授業後は、もつと子  
どもたちに読み聞かせをして読  
書をしたくなる環境をつくらせ  
てあげたいと思ひました。

■ほぼ参加してきましたが、毎  
回刺激的です。現在、担任はし  
ておりませんが、参加することで  
授業の見方や子どもへの対応の  
仕方に変化が出てきていると思  
ひます。模擬授業はどれも引  
き込まれるものでした。これがプ  
ロのリズムとテンポなのだと思  
ひました。

**第11回特別支援教育に対応した  
授業力向上研修会 開催決定!**

**2020年2月8日(土)**  
**11:00~14:00**

**場所は、今回と同じ**  
**大船渡市魚市場3F多目的室**  
**講師はもちろん小野・間嶋・田村です**

**たくさんの後援をいただきました 本当にありがとうございました!**

主催:「特別支援教育に対応した授業力向上研修会」 共催:NPO法人子ども&教師銀河夢サポート T.O.S.S銀河  
後援:一般社団法人岩手県PTA連合会 社会福祉法人日本保育協会岩手県支部  
特定非営利活動法人いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊 一関市教育委員会 雫石町教育委員会  
平泉町教育委員会 奥州市教育委員会 洋野町教育委員会 山田町教育委員会 軽米町教育委員会 一戸町教育委員会  
花巻市教育委員会 紫波町教育委員会 九戸村教育委員会 二戸市教育委員会 岩泉町教育委員会 岩手町教育委員会  
田野畑村教育委員会 西和賀町教育委員会 北上市教育委員会 矢巾町教育委員会 宮古市教育委員会  
野田村教育委員会 金ヶ崎町教育委員会 大槌町教育委員会 普代村教育委員会 葛巻町教育委員会 滝沢市教育委員会  
IBC岩手放送 ラジオ・もりおか 岩手日報社 盛岡タイムス社 岩手朝日テレビ FMねまらいん 岩手日日新聞社  
エフエム岩手 河北新報社 ICN 一関ケーブルネットワーク 胆江日日新聞社 水沢テレビ テレビ岩手 えさしわいわいネット  
(株)遠野テレビ 東海新報社 めんこいテレビ 花巻ケーブルテレビ 北上ケーブルテレビ 岩手ケーブルテレビジョン(株)  
公益社団法人日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会 一般社団法人大船渡青年会議所

回刺的ですが、現在、担任はし  
ておりませんが、参加することで  
授業の見方や子どもへの対応の  
仕方に変化が出てきていると思  
ひます。模擬授業はどれも引  
き込まれるものでした。これがプ  
ロのリズムとテンポなのだと思  
ひました。